

公益社団法人ガールスカウト日本連盟

2024年度
事業報告書



わたしが変わる。
未来が変わる。

2024年度 事業報告書 目次

ガールスカウト日本連盟 使命・活動基本方針・ビジョン2032	2
ガールスカウト日本連盟 2024年度事業総括	3
2024年度（令和6年度）事業報告	5
（１）公益目的事業について	5
公1－1）ガールスカウト教育の計画策定と推進	5
公1－2）ガールスカウト教育の推進のための指導者養成事業	10
公1－3）ガールスカウト教育に必要な資料・教材等の開発及び頒布	13
公1－4）社会連携事業	14
公1－5）ガールスカウト教育に必要な施設の運営	21
（２）収益事業について	22
（３）ガールスカウト日本連盟運営のための事業	23
（４）運営体制の充実	27

ガールスカウト日本連盟 使命

少女と若い女性が自分自身と他の人々の幸福と平和のために、責任ある市民として自ら考え、行動できる人となれるようにする。

ガールスカウト日本連盟 活動基本方針

ガールスカウトは
少女と女性の視点に立って、より幸せな社会と未来の実現を目指し、
リーダーシップを発揮できる人材を育成するとともに、
社会に変化をもたらすチェンジエージェントとして行動します。

ガールスカウトは自らが行動していく運動です。日本では 100 年前から「自分で考え、行動できる女性」を育てるノンフォーマル教育に取り組んできました。ガールスカウトの少女たちは、人との関わりを通して、さまざまな役割と活動を経験していく中で、豊かな人間性を身につけていきます。そして、自分の人生を自分で切り拓く力をもった女性に育っています。

私たちのこれからの挑戦は「女性がその可能性を最大限に発揮できる社会環境をつくりあげていく」ことです。そのために、少女と女性の可能性を伸ばすことを妨げる問題に対して声をあげ、社会に変化をもたらす行動を積極的におこない、貢献していきます。

ガールスカウト日本連盟 ビジョン2032

ガールスカウトは、「すべての少女と女性が自分らしく生きられる社会」を目指して行動する女性を育てる。

ガールスカウト日本連盟 2024年度事業総括

『2021-2023年戦略計画』で掲げた課題解決のための5つのテーマに対し、3年間取り組んだことを踏まえ作成した『2024-2026年戦略計画』のもと、5つの課題を解決するために、

- ・状況の変化に対して素早く対応する
 - ・適切に対応を評価し、柔軟に計画を修正し次の計画をおこなう
- ことを意識しながら、ビジョン2032の実現に向けて取り組みを進めました。

『2024-2026年戦略計画』に取り組むべき課題

1. ねばならない意識が強い
2. 現代社会において、少女・女性が必要とする教育を、年代に合わせて適切に（質・量）提供できていない
3. 組織の運営や情報活用の方法が時代に適していない
4. 運動の仲間の減少が続いている
5. 社会に対してのアピール度が低い

各テーマに関する取り組みについて

1. ねばならない意識からの脱却

2024年度は、今後の社会動向・人口動向から、それに伴うガールスカウトの会員数推移予測などに着手しました。

加えて、海外連盟の現状や動向を調査するためのアンケートを実施しました。それらを踏まえ、引き続き議論を進めてまいります。

2. 現代社会において、少女・女性が必要とする教育を、年代に合わせて適切に（質・量）提供する

指導者向けの教材『今こそ知りたいガールスカウト教育～2032に向けて～』を発行しました。この教材により、今の時代においてガールスカウト教育はどのような力を身につけることにつながるのかを知ったり、教育プログラムの各バッジと身につけられる力の相関や新しいバッジに関する理解につなげたりすることができるようになりました。発行後、この教材についてのオンライン研修会を3回実施しました。

またSTEAM系のバッジやFree Being Me第3段階、大阪府連盟と連携して取り組む国連環境バッジなど、新しい教育バッジについて、会員に広く浸透させるための取り組みを進めました。

ユース年代の活躍の機会として、さまざまな事業に参画できるように実施しました。特に年長部門地区事業では、クリエイティブチャレンジプログラムを実施するファシリテーターとして32人のユース年代会員が7地区でプログラムを提供し、少女たちのロールモデルとしての役割も果たしました。

指導者に対しては、「全国のリーダーあ・つ・ま・れ！」オンライン研修を5回開催し、指導者が活動に取り組むためのスキルアップの機会を提供しました。

リーダー養成講習会については、今後のあり方についての検討をおこない、特に講習Aの実施方法について見直しました。

3. 現代に適した組織の運営や情報活用をおこなう

組織面においては、都道府県連盟や団が継続的に運営できるよう、多様で柔軟な組織運営の方法等を都道府県連盟運営者向け事業などの機会を通して共有できる機会を設けており、各都道府県連盟の異なる状況に応じた支援、日々の相談対応をおこなっています。そして、2032年に向けた組織の検討のため、各都道府県連盟や団の状況を把握する調査を戦略検討委員会により実施しました。また、現代の状況に合わせ『子どもの保護と安全に関する成人会員ガイドライン』の改定、性の多様性に関する方針の再検討、会員登録において成人会員が出身地の団と現居住県の団など2つ目の団（サブ登録先）に登録できる仕組みの2025年度の導入、事務・運営にあたってのAI活用の試行に加え、改正公益法人法への対応を進めました。

財政面については理事会において、中長期的な財務状況のシミュレーションをふまえ、中期財政計画の検討をおこないました。

4. 運動の仲間の減少を止める

2024年度・2025年度の2年間、テnderフット部門・ブラウニー部門新規入会者の日本連盟会費を無料にする「入会応援キャンペーン」を開始し、取り組みを進めています。特にテnderフット部門については、前年比114.3%と大幅に上回ることができました。全体の会員数は少子化の中、減少傾向が続いていますが、減少率は前年度に比べ改善することができました。

さらにオンラインを活用した活動の可能性や運営の促進として、ガールスカウトを体験していただくオンライン体験集会や、団の運営者向けのオンライン交流の「カフェ」を実施しました。

レンジャー部門から成人会員への継続登録を促進するために、ユース年代からのビデオメッセージ作成やサブ登録を導入する検討をしました。また人材活用のためのボランティアプールについて、理事会での検討を始めました。

5. 社会に対するアピール力を高める

2024年度は公式ホームページのリニューアルをおこなった結果、アクセス数が昨年に比べ増加し、社会へのアピールを向上することができました。入会支援ツールとして広報資料を刷新したほか、1分動画を制作し、SNSやホームページを通してガールスカウトを伝える取り組みをおこないました。

ガールスカウトの認知度向上に向け、現状の課題の洗い出しと分析、少女会員数を増やしている団へのアンケート調査をおこなったほか、ユース年代へのヒアリングを通してユース年代の課題意識を調査し、新しく日本連盟でアクティブコミュニケーションを進めるための準備をおこないました。

SDGs目標5「ジェンダー平等を実現しよう」を推進する取り組みとして、中高生に対するジェンダー調査を実施しました。2024年度は男子中学生・高校生へと対象を広げ、若者の置かれている現状を分析することにつなげています。本調査で得られた結果は2025年度に社会に発信していく予定です。

公益社団法人ガールスカウト日本連盟

2024年度（令和6年度）事業報告

（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

（１）公益目的事業について

公1 ガールスカウト運動を普及することにより、社会に役立つ人材を育成し、よりよい社会の実現を目指す事業

公1-1) ガールスカウト教育の計画策定と推進

目的を達成するために、ガールスカウト教育に関わる事項について、世界連盟、世界連盟に加盟する各国（及び地域）連盟、都道府県連盟、他団体との協力により、その計画を策定するための会議を実施する。また、策定された計画を全国で推進するために、「モデルとなる事業」「会員の力を結集して社会貢献する事業」「世界レベルでの活動を推進するための会議及び事業」を実施する。

（事業内容）

① 計画策定のための会議

会議名	理事連絡会
期日	年6回（オンライン・ガールスカウト会館での開催）

有識者の会	
会議名	評議員会
期日	12月14日（土）
会議名	顧問会
期日	10月5日（土）（ガールスカウト会館）
会議名	フレンズ オブ ザ ボード 定期交流会
期日	10月5日（土）（ガールスカウト会館）

事業名	連盟長会議
実績	期日： 6月16日（日） 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター 参加者：連盟長 47人

事業名	連盟運営者会議
実績	期日： 11月17日（日）（オンライン） ※11月16日（土）夜に自由参加プログラム 参加者：都道府県連盟理事・監事・事務局担当者 240人 （17日 224人、16日 86人）

戦略委員会	
委員会名	これからのガールスカウト運動を考える委員会
	・5回開催（オンライン）
	これからのガールスカウト運動を考える委員会＜組織検討チーム＞
	・15回開催（オンライン14回、集合1回）

② モデルとなる事業

事業名	年少部門対象事業（防災科学技術研究所との協働事業）
実績	防災・減災イベント「大雨災害のそなえ」 期日：9月1日（日） オンライン開催 参加者：185人（小学生89人・その他の年代96人）
	KIZUNA Day2025イベント みんなで学ぶ防災教室「地震のそなえ」 期日：2025年3月22日（土） オンライン開催 参加者：55人（小学生26人・その他の年代29人）

事業名	ガールスカウトカフェ
実績	・ガールスカウトカフェvol.21（オンライン） 期日：2025年2月2日（日） 参加者：13人（シニア5人、レンジャー7人、ユース年代1人） スピーカー：11人（レンジャー8人、ユース3人） 担当：委員3人

事業名	STEAM教育への取り組み
実績	Chip Camp in 広島（シニア部門対象） 期日：4月2日（火）～4月4日（木） 会場：国立江田島青少年交流の家 マイクロンメモリ ジャパン（株）広島工場／広島開発センター 参加者：47人
	Chip Camp in 東京（シニア部門対象） 期日：12月26日（木）～12月28日（土） 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター 参加者：43人
	Girls Going Tech in 東京 期日：8月18日（日） 会場：ガールスカウト会館 参加者：少女会員65人、成人18人
	Girls Going Tech in 広島（ジュニア部門対象） 期日：7月28日（日） 会場：広島大学 東千田キャンパス 参加者：22人
	Girls Going Tech in 奈良（ジュニア部門対象） 期日：2025年3月2日（日） 会場：なら100年会館 参加者：39人

	STEAMバッジプログラムの普及 ・STEAM教材発表会 期日：7月22日（月） 会場： ガールスカウト会館 内容： マイクロンメモリジャパンCEO、レンセラー工科大教授、東科大教授、東北大教授、ガールスカウト日本連盟会長のトークセッション、講演 参加者： 少女会員9人、成人会員4人
	・日本教育新聞WEB版にてインタビュー記事掲載「理数分野のジェンダーギャップ 民間発で解消の取り組み進む」 期日：2025年1月7日（火）

事業名	B-Pアワード
実績	応募3件、受賞1件 B-Pアワード説明会（オンライン）開催 参加者55人

事業名	年長部門地区事業			
実績	全国7地区においてクリエイティブチャレンジプログラムの実施 参加者総数：606人			
	地区（担当連盟）	期日	会場	参加者
	北海道・東北地区 （宮城県連盟）	11月2日（土）～ 11月3日（日・祝）	宮城県松島 自然の家	シニア 37人 レンジャー 29人 指導者 37人 合計 103人
	北関東地区 （新潟県連盟）	9月14日（土）～ 9月15日（日）	国立妙高青 少年自然の 家	シニア 45人 レンジャー 24人 指導者 39人 合計 108人
	南関東地区 （神奈川県連盟）	10月13日（日） ～10月14日 （月・祝）	川崎市青少 年の家	シニア 35人 レンジャー 19人 指導者 34人 合計 88人
	北陸・東海地区 （富山県連盟）	11月2日（土）～ 11月3日（日・祝）	富山県砺波 青少年自然 の家	シニア 35人 レンジャー 18人 指導者 33人 合計 86人
	近畿地区 （兵庫県連盟）	2025年1月25日 （土）～1月26日 （日）	しあわせの 村 野外活 動センター	シニア 45人 レンジャー 10人 指導者 18人 合計 73人
	中国・四国地区 （高知県連盟）	11月30日（土） ～12月1日（日）	高知県立高 知青少年の 家	シニア 15人 レンジャー 3人 指導者 27人 合計 45人
	九州・沖縄地区	11月2日（土）～	沖縄県立玉	シニア 38人

	(沖縄県連盟)	11月3日 (日・祝)	城青年の家	レンジャー 13人 指導者 52人 合計 103人
--	---------	-------------	-------	---------------------------------

事業名	レンジャーキャンプ
実績	テーマ：The road to be 戸隠アンバサダー 期日：8月10日 (土)～8月14日 (水) 会場：戸隠ガールスカウトセンター 参加人数：98人 スタッフ：37人

事業名	戸隠ガールスカウトセンターを活用した教育の実践
実績	期日：4月27日 (土)～11月4日 (月・振) (22頁「戸隠ガールスカウトセンターの管理運営」参照)

事業名	戸隠ガールスカウトセンター 夏期利用事前研修
実績	期日：6月1日 (土) オンライン

③ 事業運営のための委員会

委員会名	教育・指導者委員会
実績	全体：3回開催 (オンライン) 事業担当ごと会議：複数回 (オンライン)

④ 会員の力を結集して社会貢献する事業

事業名	環境教育
実績	・環境問題について考え、持続可能な社会の構築につながるプログラムの実施 ・Greener×GreenerⅡバッジ取得数 256枚

事業名	地域支援事業
実績	0件

事業名	コミュニティアクション チャレンジ100 (CAC100) アワード
実績	＜受賞プロジェクト＞ ・グランプリ 地域の未来を創るパープルリボンプロジェクト ・コミュニティアクション賞 パープルBook大作戦 ・コミュニティアクション賞 ロヒンギャ難民キャンプ女性支援 ・チャレンジ賞 みんなde照らす!! パープルリボンキャンペーン ・チャレンジ賞 BE YOU, BE AWESOME. ・日能研賞 ガールスカウトがつなぐ畑の恵み・幸せの輪 ＜表彰式＞ 10月6日 (日) ※ガールズメッセで実施

事業名	ガールズメッセ
実績	テーマ：私の声から広がる世界

	期日：10月6日（日） 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター 参加者：280人 24都道府県連盟 内容：ガールスカウトの幅広く奥深い活動を展示、体験を通して知る 第1部 Free Being Me 大好きなわたし 第2部 表彰式・活動報告：CAC100アワード、B-Pアワード、ジェンダー調査2023報告 第3部 メッセ（展示、体験、ご当地グッズ販売）
--	--

事業名	会員継続の支援
実績	継続率向上に向けたメッセージの送付（11月、12月初旬） ・フライアップを考える年代の小6、中3、高2、高3年代にメッセージを送付 ・小6、中3、高2年代宛てについては、都道府県連盟を通して団へ送付。高校3年生年代のレンジャーには、会員登録住所へ直接送付 大学等入学試験にかかる推薦書、活動証明書の発行 ・53件（21都道府県連盟、43人）

⑤ 世界レベルでの活動を推進するための会議及び事業

事業名	国際理解支援事業
実績	<海外研修渡航費補助> 5都県連盟 5件 茨城県連盟、埼玉県連盟、東京都連盟、神奈川県連盟、奈良県連盟 <国際紹介状の発行> 13件（県連盟・団・協議会：5件、個人〔留学など〕8件）100人 <国際交流申請> 11件（海外研修：11件、参加人数124人、日本在住のアメリカ連盟会員との国内交流：0件） <招へい申請> 3件

事業名	海外研修本部派遣（成人）
実績	ヘレン・ストロー セミナー2025
事業名	期日：2025年2月1日（土）～2月8日（土）
実績	会場：アワシャレー、スイス 参加者：1人

事業名	臨時世界会議 代表派遣
実績	期日：9月14日（土）～9月15日（日） 会場：オンライン 参加代表：2人

事業名	ワールドシンキングデイの実施
実績	テーマ：ガールスカウト運動 期日：2025年2月22日（土）周辺で実施 ・世界連盟が発行した活動パックの日本連盟版の発行

	・ SNS投稿 Instagramのメンションおよびハッシュタグから、各地の取り組みをシェアした ・ 世界連盟への寄付 1,521,386円
--	---

公1-2) ガールスカウト教育の推進のための指導者養成事業

公1-1) で策定された教育計画の実施に当たって、少女と若い女性の活動を支援するための指導者や、さらにこの運動を発展させるための成人の活動を支援するための指導者を養成する事業を実施する。

(事業内容)

① ガールスカウト教育を実施する指導者の養成事業

事業名	リーダー養成講習
期日	年間
実績	リーダー養成講習 212回 (43都道府県連盟で開催)

事業名	指導者研修
期日	年間
実績	指導者研修 290回 (387単位) (43都道府県連盟で開催)

会議名	理事研修
実績	①期日：6月15日 (土) 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター ②期日：9月7日 (土)～9月8日 (日) 会場：ガールスカウト会館

事業名	트레이ナーセミナー
実績	トレーナーセミナー ・ テーマ：つながる力「ビジョン2032に向けて」～やっと会えるね～ 期日：11月9日 (土)～11月10日 (日) 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター 参加者：34都道府県連盟 79人 トレーナーセミナー (オンライン) ・ テーマ：STEAM教育 期日：11月29日 (金) 参加者：27都道府県連盟 78人 ・ テーマ：ワールドシンキングデイ2025 期日：12月22日 (日)、12月23日 (月) 参加者：42都道府県連盟 153人 ・ テーマ：マインドセットの理解 期日：2025年1月24日 (金) 参加者：29都道府県連盟 72人

	・テーマ：アドボカシー活動を集会に取り入れるために 期日：2025年2月21日（金） 参加者：19都道府県連盟 37人
	トレーナーの単位 I（オンライン・eラーニング） 期日：12月27日（金）～2025年3月31日（月） 取得者数：39都道府県連盟 164人

事業名	クリエイティブチャレンジプログラムファシリテーター養成研修
実績	期日：4月27日（土）～4月29日（月・祝） 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター 参加者：27人（NPO法人ハナラボ 4人含む）

事業名	全国のリーダーあ・つ・ま・れ！（オンライン）
実績	5回開催 参加人数 計289人

事業名	GEリーダー育成研修（オンライン）
実績	期日：6月8日（土） 参加者31人 修了者29人 期日：2025年3月16日（日） 参加者30人 修了者30人

事業名	GEアンバサダーフォローアップ研修
実績	第1回（オンライン） 期日：5月25日（土） 参加者：64人 第2回（オンライン） 期日：7月5日（金） 参加者：50人 第3回（国立オリンピック記念青少年総合センター） 期日：11月10日（日） 参加者36人

事業名	GEキャラバン（実践的指導者研修）
実績	実施なし

事業名	トレーナー養成・育成勉強会
実績	期日：8月25日（日）（オンライン） 参加者：19都道府県連盟51人（支援者28人、候補者23人）

事業名	トレーナーへの支援
実績	・トレーナー用ウェブページの運営 ・トレーナー情報共有プラットフォームSlackの運営

事業名	リーダーへの支援
実績	教材開発 ホームページ充実 指導者研修（オンライン） ・今こそ知りたいガールスカウト教育 期日：6月21日（金）

	参加者：140人（34都道府県連盟） 期日：7月21日（日） 参加者：130人（32都道府県連盟） 期日：8月21日（水） 参加者：190人（36都道府県連盟） ・性の多様性に関する研修会 共催：（公財）人権教育啓発推進センター 期日：2025年3月9日（日） 講師：飯田あきる氏 参加者：39人（13都道府県連盟）（主管：静岡県連盟） ・GEリーダーおよびFBMリーダーフォローアップ研修 期日：2025年3月30日（日） 参加者：43人（19都道府県連盟）
--	--

事業名	新任連盟長研修
実績	期日：6月15日（土） 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター 参加者：新任連盟長 12人

事業名	役職別情報交換会
実績	期日：9月28日（土）（オンライン） 参加者：都道府県連盟理事・監事・事務局職員 198人

事業名	連盟長連絡会
実績	期日：2025年2月23日（日・祝）（オンライン） 参加者：都道府県連盟 連盟長・副連盟長等 79人（47都道府県連盟）

事業名	都道府県連盟支援
実績	・県連盟理事とのオンラインミーティング、相談対応 ・組織拡充のための理事等派遣：7回 ・連盟長Slackの運営

事業名	表彰	
実績	功労章	桐章 12人、菊章 16人、梅章 19人
	永続奉仕章	70年 0人、60年 9人、50年 64人、40年 100人 30年 204人、25年 180人、20年 221人、10年 297人
	団永続章	70年 6カ団、60年 11カ団、50年 44カ団、40年 13カ団 30年 7カ団、25年 4カ団、20年 0カ団、10年 1カ団
	都道府県連盟永続章	75年 1都連盟、50年 2県連盟
	善行章	1件
	ガールスカウト活動賞	3件
	感謝状	13件（日本連盟事業協力 7件、アメリカ連盟海外支部、県連盟からの申請 5件）

	会員数増加 団	223カ団
	新入会者多 数団	139カ団（2024年度新入会者 5人以上）

② 指導者の認定事業

事業名	ガールスカウトトレイナー認定講習会・審査会
実績	期日：2025年1月12日（日）～1月13日（月・祝） 会場：ガールスカウト会館 参加者：プログラムトレイナー 5人

事業名	プログラムトレイナー認定審査会
実績	期日：2025年1月11日（土）（オンライン） 参加者：トレイナー候補者 26人

③ 指導者派遣事業

事業名	リーダー養成講習・指導者研修 指導者派遣
実績	高知県連盟 講習B（シニア・レンジャー部門） 期日：4月13日（土） 会場：博愛園（香美市） 参加者：6人 三重県連盟 講習A 期日：9月22日（日） 会場：東員町文化センター 参加者：9人

④ 専門委員会

委員会名	成人トレーニング委員会 15回開催（オンライン）
実績	指導者養成育成見直しチーム 7回開催（オンライン）

公1-3) ガールスカウト教育に必要な資料・教材等の開発及び頒布

公1-1) で策定された教育計画を推進する目的に必要な資料及び教材等の開発・制作及び頒布を行う。

開発に当たっては、教育計画策定に当たる委員会や専門家がかかわる。頒布に当たっては、ホームページでの公開などにより、誰もが入手できる方法を確保している

（事業内容）

資料名	教材等の製作・発行 ・ジェンダー調査2024報告書 ・Free Being Me第3段階リーダーズガイド ・サイバー・スマートプログラム リーダーズガイド ・ロボティクスバッジ リーダーズガイド
-----	---

	・バイナリーバッジ リーダーズガイド ・今こそ知りたいガールスカウト教育 2032に向けて ・ガールスカウトがキャンプに行く前に読む本 ・2025年ワールドシンキングデイ活動パック ガールスカウト運動
	『Girl Scouts' News』の発行 年4回、全会員対象にPDFで発行 ・vol. 19 6月14日発行 ・vol. 20 11月14日発行 ・vol. 21 2025年2月7日発行 ・vol. 22 2025年3月28日発行

その他教材

『バッジブック』（各部門）、各部門バッジ各種、『楽しい野外』、『楽しいソング』、『楽しい料理』、『元気の種本（春夏）』、『ガールスカウト活動の基礎』、『ガールスカウトのソングCD』、『指導者養成講習資料』、『指導者の手引き』、『挑戦し続ける運動』、『ブラウニー物語』、『B-Pのことば』、『ガールスカウト活動の安全』、『防災マイスターアクティビティ集』、『ガールスカウトお金について考えよう』、『Be The Change - わたしが変わる。未来が変わる。14歳以上のガールスカウトのためのコミュニティ・アクション・プログラム ガイドブック』、『アドボカシー活動を始めるためのガイドブック』、『GEリーダーズガイド』他
--

公1-4) 社会連携事業

ガールスカウト運動を普及し、よりよい社会の実現を目指すために、社会と連携した事業の実施及び社会への提言をする。

（事業内容）

① 事業

事業名	SDGsへの取り組み
実績	SDGsバッジ取得数 651個

事業名	SDG5*の促進
実績	ジェンダーに関する意識調査2024 調査および報告書作成 Free Being Me (FBM**) 第3段階 ・取り組んだ人数：大好きなわたし 996人、行動編 86人 ・ダヴとの協働イベントの実施（19・20頁 他団体との連携参照） ・FBM大好きなわたしバッジ 487枚 ・FBM行動編バッジ 123枚 GEバッジプログラム 普及促進 ・GEリーダー育成研修（オンライン） 2回開催 参加人数 計59人 ・GEアンバサダーフォローアップ研修（オンライン、対面）3回開催 参加人数 計150人 ・「わたし と みんな」GEバッジWEBイエローバッジ 392枚 ・「わたし と みんな 行動編」GEバッジ対面オレンジバッジ 280枚 ・「me and them」GEバッジWEBミントバッジ 123枚 ・「me and them 行動編」GEバッジ対面グリーンバッジ 60枚

注)

SDG5*: SDGs目標5「ジェンダーの平等を実現しよう」に向けて、(GE※平等バッジ、FBM大好きなわたしバッジ、FBM行動編バッジ)の取り組み促進をおこなう。

※GE =Gender Equality

FBM**: ガールガイド・ガールスカウト世界連盟とパーソナルケアブランドのダヴが協働で作成したプログラム。自己肯定感を高めるとともに、社会の問題に目を向け、変化をもたらすための行動をとれるようになることを目指す。

事業名	ジェンダー平等を実現するための社会への働きかけ
実績	<国際女性デー オンラインイベント> 「中学生・高校生年代を取り巻く環境が与える影響とは」 期日：2025年3月8日（土） 参加者：34人

事業名	防災・減災教育
実績	・防災マイスターアクティビティ集を活用した団でのプログラムの促進： 防災マイスターバッジ 820個 ・体験活動、一般を対象としたプログラムの実施

事業名	ガールスカウトの日 全国一斉イベント
実績	5月22日を中心とした 5月に全国で実施

事業名	国際ガールズ・デーイベント
実績	「ガールズメッセ2024」を開催（10月6日（日）開催）

事業名	女性に対する暴力防止キャンペーン
実績	・ガールスカウト会館のパープルライトアップおよび会員から寄せられた各地のパープルライトアップ施設の写真をSNSへ掲載 期間：11月12日（火）～11月25日（月） ・ガールスカウト会館のオレンジ・ライトアップ 期間：11月25日（月）～12月10日（火）

事業名	ワールドシンキングデイ
実績	2025年2月22日（土）を中心として全国で実施 ・世界連盟が発行した活動パックの日本連盟版の発行 ・SNS投稿 Instagramのメンションおよびハッシュタグから、各地の取り組みをシェアした 世界から届いたワールドシンキングデイカード8件掲載

事業名	国際女性デー
実績	2025年3月8日（土）国際女性デー オンラインイベントを実施

事業名	KIZUNA Day
実績	2025年3月11日（火）前後に全国各地で実施

事業名	体験活動の促進
実績	会員増のための一斉キャンペーンの実施 ・ガールスカウトの日（春・夏入会促進事業） ・おやこでチャレンジ（秋入会促進事業） 9月～12月 ・春の体験集会（春入会促進事業） 2月～4月 外部活用（「お外でリアル体験!『そとチャレラリー2024』」、「コドモブースター」の活用等） オンライン体験集会 ・「保冷剤をかわいく変身!カラフル消臭剤を作ろう♪」 期日：4月20日（土） 参加者：44人 ・「カラフル傘をつくろう」 期日：2025年1月19日（日） 参加者：41グループ（個人・グループ） 入会・継続促進事業 ・団運営者向けカフェ 期日：11月24日（日）（オンライン） テーマ：「おとなカフェ2024」 参加者：35人 入会応援キャンペーン ・新規入会者1,066人（テンダーフット280人、ブラウニー786人）にトレフォイルファンド積立資産から会費全額を助成

事業名	会員会費助成
実績	・児童養護施設在籍の少女会員への支援：会費半額助成 26人（4カ団） （うち4人は入会応援キャンペーン対象） ・被災会員への支援：3県連盟 会費半額助成 26人、会費全額助成 3人

事業名	被災地事業への助成
実績	令和6年能登半島地震 被災者支援 ・被災した（2023年度）会員への見舞金および災害等支援積立資産から会費を助成 ・理事による県連盟訪問：4月13日（土）、石川県連盟・富山県連盟 ・能登半島震災支援プロジェクト 期日：10月11日（金）～13日（日） 参加者：ユース年代会員10人、理事2人、職員1人 内容：石川県志賀町の団訪問・交流、志賀町とぎ第2団地（仮設住宅）訪問・プログラム提供、石川市長土堀青少年交流フェスティバルにて親子向けプログラムの実施 事前研修：3回 含：能登町で活動中の災害看護師のオンライン講義

事業名	広報イベントおよび広報キャンペーンの展開
実績	<おやこでチャレンジ> 期間：9月～12月 <春の体験集会>

	期間：2025年2月～2025年4月
--	--------------------

事業名	ガールスカウトのPR
実績	<ガールスカウト会館40周年> 事業名：「ガールスカウト ☺ ほほえみこどもフェスティバル 期日：11月10日（日） 会場：ガールスカウト会館 参加者：約170人（運営スタッフ：少女会員10人、成人会員7人） <Google広告> Googleの検索結果に表示される広告。Google for Nonprofitプログラムにより月10,000USドル分まで無償で掲載。 広告期間：4月1日（月）～2025年3月31日（月） 対象：Google検索を使用するすべての人 目的：ガールスカウト以外の語句での検索結果のアクセスを獲得する 広告表示回数：187,960 リンククリック数：23,142 <プレスリリース> 年間配信数：15件 PR TIMES総ページビュー数 31,964PV、訪問者数31,888 <コドモブースターへの掲載> こどもの習い事を検討する保護者への露出を目的に、習い事サイト「コドモブースター」に登録を希望する団情報を掲載した。 掲載団数：717カ団 <外部イベントへの出展> ① キッズいきるちからフェス 期日：9月23日（月・祝） 会場：WITH HARAJUKU HALL（東京都渋谷区） スタッフ：成人会員3人、職員3人 ② SOZOWフェス 期日：2025年2月11日（火・祝） 会場：有明ガーデン（東京都江東区） スタッフ：少女会員2人、成人会員2人、職員1人

事業名	ホームページ等の運営、SNSの活用、ホームページリニューアル
実績	<ホームページ、SNS等の運営> ・日本連盟公式ホームページ アクセス数：524,960（昨年度比105.68%） セッション数：251,337（昨年度比80.07%） 新規ユーザー数：137,896 人（昨年度比81.46%） *Googleアナリティクスでの訪問者数計測が終了しセッションおよびユーザー数表記に変更。 ・日本連盟公式ブログ サイトビュー数：106,014PV（昨年度比202.86%） 公開記事数：25記事 ・SNS等の運営

	Instagram フォロワー：4,367（昨年度より575増） リーチ：30,755（昨年度より3,711増） その他下記SNSにおいてもフォロワーは増加。 Facebook フォロワー9,878 YouTube チャンネル登録者1,990（昨年度より140増） X フォロワー2,336 LINE 友だち4,486
	<ホームページリニューアル> 公開日：5月21日（火）

事業名	広報資料の作成と配布
実績	・リーフレット（2024年8月リニューアル）35,470部 ・入会案内パンフレット（2024年8月リニューアル）18,363部 ・アクティビティレポート2023 9,500部 ・2025年カレンダー 無償配布1,500部

事業名	社会との連携																								
実績	・ガールスカウト推進議員連盟総会 期日：6月11日（火） 会場：衆議院第二議員会館 参加人数：39人（議員・代理出席者） ・役員その他団体役員等就任状況 <table border="1"> <tr> <th>団体名</th><th>役職名</th></tr> <tr> <td>内閣府・男女共同参画推進連携会議</td><td>議員</td></tr> <tr> <td>独立行政法人国立青少年教育振興機構</td><td>推進委員会委員</td></tr> <tr> <td>体験の風をおこそう運動</td><td>企画推進チーム委員</td></tr> <tr> <td>公益社団法人国土緑化推進機構</td><td>緑の募金運営協議会委員</td></tr> <tr> <td></td><td>緑の少年団表彰審査委員会委員</td></tr> <tr> <td>公益社団法人日本キャンプ協会</td><td>理事</td></tr> <tr> <td>公益財団法人日本ユニセフ協会</td><td>顧問</td></tr> <tr> <td>一般財団法人日本ユースホステル協会</td><td>評議員</td></tr> <tr> <td>社会福祉法人中央共同募金会</td><td>評議員</td></tr> <tr> <td>特定非営利活動法人自然体験活動推進協議会</td><td>理事</td></tr> <tr> <td>公益財団法人ボーイスカウト日本連盟</td><td>評議員</td></tr> </table>	団体名	役職名	内閣府・男女共同参画推進連携会議	議員	独立行政法人国立青少年教育振興機構	推進委員会委員	体験の風をおこそう運動	企画推進チーム委員	公益社団法人国土緑化推進機構	緑の募金運営協議会委員		緑の少年団表彰審査委員会委員	公益社団法人日本キャンプ協会	理事	公益財団法人日本ユニセフ協会	顧問	一般財団法人日本ユースホステル協会	評議員	社会福祉法人中央共同募金会	評議員	特定非営利活動法人自然体験活動推進協議会	理事	公益財団法人ボーイスカウト日本連盟	評議員
団体名	役職名																								
内閣府・男女共同参画推進連携会議	議員																								
独立行政法人国立青少年教育振興機構	推進委員会委員																								
体験の風をおこそう運動	企画推進チーム委員																								
公益社団法人国土緑化推進機構	緑の募金運営協議会委員																								
	緑の少年団表彰審査委員会委員																								
公益社団法人日本キャンプ協会	理事																								
公益財団法人日本ユニセフ協会	顧問																								
一般財団法人日本ユースホステル協会	評議員																								
社会福祉法人中央共同募金会	評議員																								
特定非営利活動法人自然体験活動推進協議会	理事																								
公益財団法人ボーイスカウト日本連盟	評議員																								

事業名	他団体との連携
実績	<国立研究開発法人 防災科学技術研究所（防災）> ① 防災・減災イベント [大雨災害のそなえ] 期日：9月1日（日） オンライン開催 参加者：185人（小学生89人・その他の年代96人） ② KIZUNA Day 2025 イベント みんなで学ぶ防災教室 [地震のそなえ] 期日：2025年3月22日（土） オンライン開催

参加者：55人（小学生26人・その他の年代29人）
<一般社団法人 あそび庁（体験活動）> 内容：こどもまんなか応援サポーターになろう！講座 講師派遣 期日：2025年3月29日（土） 会場：渋谷生涯活躍ネットワーク・シブカツ（渋谷区） 参加者：20人 講師： 트레이ナー1人
<大阪・関西万博への協力（環境・ジェンダー）> ・国連環境バッジの取り組み開始 ・大阪・関西万博 ウーマンズパビリオン「WA」スペースイベント実行委員会の募集及び開催
<マイクロテクノロジー（STEAM）> 内容：STEM教育推進イベントの開催 期日：7月22日（月） 会場：ガールスカウト会館 登壇者：理事1人、少女会員2人
<ダヴ（ユニリーバ）FBM普及協力（ジェンダー）> 内容：3社合同コラボインターンシップ内の導入としてFBM実施 期日：8月9日（金） 会場：サッポロドラッグストアー本社（北海道） 担当：トレーナー1人、職員1人 参加者：40人 内容：オンライン高校生インターンシップにてFBM実施 期日：8月20日（火） 会場：オンライン 担当：トレーナー1人、職員1人 参加者：14人 内容：ユニリーバ社員向けファシリテーション研修 期日：9月12日（木） 会場：オンライン 担当：トレーナー1人、職員1人 参加者：10人 内容：サツドラ×ユニリーバ 親子向けFBMワークショップ 期日：10月19日（土） 会場：サッポロドラッグストアー本社（北海道） 担当：トレーナー1人、リーダー2人、少女会員4人、職員1人 参加者：129人 内容：DoveDay FBMワークショップ 期日：10月31日（木） 会場：今沢中学校（静岡県） 担当：トレーナー2人 参加者：80人

内容：DoveDay FBMワークショップ 期日：11月15日（金） 会場：東海大学付属高輪台高等学校（東京都） 担当： 트레이ナー3人 参加者：165人 内容：DoveDay FBMワークショップ 期日：11月20日（水） 会場：国際学院高等学校（埼玉県） 担当：トレーナー4人 参加者：100人 内容：DoveDay FBMワークショップ 期日：2025年1月9日（木） 会場：池田高等学校定時制課程（徳島県） 担当：トレーナー2人 参加者：13人
< IYF・バーバリー財団（リーダーシップ） > 内容：IYFヤングリーダープログラム 会場：オンライン（15回） 参加者：2人
< パロアルトネットワークス株式会社（STEAM） > 内容：サイバー・スマートバッジプログラム体験 期日：10月6日（日） 会場：国立オリンピック青少年総合センター 参加者：60人
< ESD活動支援センター > 「ESD推進ネットワーク全国フォーラム2024」ポスターセッション参加 期日：12月1日（日） 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター 事例提供：大阪府連盟
< 日本環境教育フォーラム > 環境省事業・TEEN共同プロジェクト比較調査への事例提供 事例提供：兵庫県連盟
< 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 > 「令和6年度 未来を拓く子供応援フォーラム」ポスターセッション参加 期日：2025年2月19日（水） 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター
< 一般社団法人 日本損害保険協会（防災・防犯・交通安全） > 小学生のぼうさい探検隊マップコンクールへの参加
< 自然体験推進協議会（CONE） > シンポジウムへの登壇派遣 派遣先：自然体験推進協議会（CONE）シンポジウム 派遣者：理事1人 登壇

	<日本キャンプ協会> 日本キャンプ協会機関紙への執筆 執筆先：日本キャンプ協会機関紙『CAMPING』 執筆者：理事1人
--	---

事業名	国内交流事業
実績	申請数：4件

事業名	少女・女性に関する調査
実績	・ジェンダーに関する意識調査2024 調査および報告書作成

事業名	Creative TEAM
実績	KIZUNA Dayイベントチラシ制作、LINEスタンプ制作、メルマガ使用写真提供、Instagram投稿制作、Greetingメッセージ制作、Tシャツデザイン制作、活動写真撮影

② 専門委員会

委員会名	SDG5推進委員会
実績	・全体：5回開催（オンライン） ・事業担当ごとの会議：複数回開催（オンライン）

委員会名	コミュニケーション戦略委員会
実績	9回開催（オンライン）

チーム名	ジェンダー調査チーム
実績	16回開催（オンライン）

公1-5) ガールスカウト教育に必要な施設の運営

東京都渋谷区にガールスカウト会館、長野県長野市に戸隠ガールスカウトセンターを保有し、公1-1) により策定したガールスカウトの教育計画を具体的を実施するために不可欠な施設として運営している。

ガールスカウト会館は、東京都心であり、全国で活動する会員が一堂に会し会議や活動をする場としてのみならず、ガールスカウトの歴史的展示物や、ガールスカウト活動・教育に関する資料の展示を行って一般にも広く開放している。また、当連盟の事務局がおかれ、当連盟全体の業務を執行している。

なお、2019年度10月から、公1) に掲げる事業の改善及び推進に必要な財源を確保し、公益事業としてのガールスカウト教育をより充実させるために、収2) として同施設の一部を賃貸している。

戸隠ガールスカウトセンターは、妙高戸隠連山国立公園内に位置し、昭和35年に少女と女性が安全に安心して野外活動（キャンプ）をすることを目的に開設された。以来、当連盟が行う少女のための野外活動事業や指導者養成事業のほか、都道府県連盟や団のキャンプに利用されている。

両施設とも、本連盟の目的に適う団体に対し本連盟の事業に支障のない範囲で開放している。

事業名	ガールスカウト会館の管理運営（年間）
-----	--------------------

事業名	戸隠ガールスカウトセンターの管理運営
実績	春期期間：4月27日（土）～7月5日（金） 利用者数：宿泊 延べ192人 日帰り 41人 （利用グループ 9グループ）
	夏期期間：7月13日（土）～8月31日（土） 利用者数：宿泊 延べ4,236人 日帰り 146人 （利用グループ 21グループ）
	秋期期間：9月1日（日）～11月4日（月・振） 利用者数：宿泊 延べ323人 日帰り 3人 （利用グループ 12グループ）

（２）収益事業について

収1 ガールスカウト関連事業

（事業内容）

ガールスカウト教育を行うために、活動に必要な需品の頒布を行う。

取り扱う品物は、以下のとおり

取り扱い品	備考
制服及びその付属品（ピン類、県別・団別章）	活動に参加する少女の安全の確保と、仲間意識の高揚と目的の共有、社会への存在アピールのため。また、成人に対しては、指導的立場にある者としての証として制服の頒布を行う。
教育活動に必要な物品	ガールスカウト活動の中心的活動のひとつである野外での活動を安全にかつ教育効果の高いものとするための物品の頒布を行う。
シンボルマーク入り製品	シンボルを利用した教育方法を行っているために、シンボルマーク等を付した物品の頒布を行う

収2 不動産賃貸事業

（事業内容）

公1 に掲げる事業の改善及び推進に必要な諸経費を確保し、公益事業としてのガールスカウト教育をより充実させるために、保有する不動産施設であるガールスカウト会館の1 階部分の賃貸事業を行う。

賃貸物件	ガールスカウト会館1階部分
借主	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団
内容	保育施設およびその事務所

(3) ガールスカウト日本連盟運営のための事業

① 事業等

会議名	理事会
期日	年5回（オンライン）
内容	・理事会議題一覧参照

会議名	監査
期日	5月6日（月・振）オンライン（前年度決算監査）
内容	・2023年度 事業報告について ・2023年度 決算について

会議名	第96回定時総会
期日	5月25日（土）
会場	ガールスカウト会館（オンラインでの議決権行使）
内容	・第1号議案：2023年度事業報告（案）について ・第2号議案：2023年度決算報告（案）について ・第3号議案：次期役員選出のための役員選出委員の選任について

会議名	2025年2月23日臨時総会
期日	2025年2月23日（日）
会場	ガールスカウト会館（オンラインでの議決権行使）
内容	・第1号議案：定款の一部変更について

事業名	会員登録
実績	・年間（特別個人会員の登録を含む） ・登録手続き説明会2025 期日：2025年1月26日（日） 方法：オンライン 参加者：都道府県連盟 登録担当者等 104人

事業名	会員データベースの活用
実績	・日本連盟表彰のうち永続奉仕章（成人会員）、団永続章、都道府県連盟永続章について日本連盟会員データベースの登録情報から受章者を決定 ・日本連盟理事の担当業務、委員会等、県連盟のリクエストによるデータ提供

事業名	助成金等の獲得
実績	(1) 助成金 ・「レンジャー全国キャンプ The Road to be 戸隠アンバサダー！Girls Power Camp」への助成（独立行政法人国立青少年教育振興機構（子どもゆめ基金））

	・「Chip Camp」「Girls Going Tech」への助成（Micron Technology Foundation, Inc.） ・クリエイティブチャレンジプログラムファシリテーター養成研修およびクリエイティブチャレンジプログラムへの助成（バーバリーグループ バーバリー財団 International Youth Foundation） ・質の高いガールスカウト活動と国際体験、能登半島震災支援プロジェクトへの助成（ガールガイド・ガールスカウト世界連盟アジア太平洋地域 AP地域30%ベネフィット） (2) 協賛金 ・コミュニティアクション チャレンジ100アワード協賛金（株式会社日能研） (3) 委託事業収入 ・Free Being Me取り組み人数に対する事業協力金、Free Being Meワークショップ協働開催に対する委託費（ユニリーバ・カスタマーマーケティング株式会社）
--	---

事業名	寄付金の拡大						
実績	一般寄付、戸隠募金、賛助会費、賛助会員トレフォイル、マンスリー募金、ネット募金（Yahoo！ネット募金ほか）、アフィリエイトなど <参考>世界連盟への寄付 <table border="1"> <tr> <th>寄付金名</th><th>金額</th></tr> <tr> <td>国際友愛基金</td><td>1,521,386円</td></tr> <tr> <td>サンガム指定寄付金</td><td>366,761円</td></tr> </table>	寄付金名	金額	国際友愛基金	1,521,386円	サンガム指定寄付金	366,761円
寄付金名	金額						
国際友愛基金	1,521,386円						
サンガム指定寄付金	366,761円						

事業名	寄付促進キャンペーンの実施
実績	・6月8日「戸隠を想う日」寄付促進のためのチラシ作成・配布 ・賛助会員へのメッセージ募集・ポストカード配布 ・遺贈促進に関する検討

事業名	賛助会員トレフォイルの集い
実績	期日：11月2日（土） 会場：ガールスカウト会館 内容：日本連盟事業報告、トレフォイル会計報告、ピン授与式、『プレイバック 思い出のソング』コンサート 参加者数：13人、日本連盟理事2人、職員1人

事業名	予算委員会
実績	期日：11月23日（土・祝） 会場：ガールスカウト会館

事業名	事務局の強化
実績	・ICTの活用推進 ・業務分野ごとの個別研修受講の推進 ・公益法人法改正に伴う研修の受講

② 専門委員会

委員会名	ファンドレイザーグループ（年4回開催 オンライン）
------	---------------------------

③ 理事会議題一覧

	開催年月日	主な決議事項等
理事会	5月6日（月・振）	・第96回定時総会について - 第1号議案：2023年度事業報告（案）について - 第2号議案：2023年度決算報告（案）について - 第3号議案：次期役員選出のための役員選出委員の選任について ・性の多様性に関する方針について ・戸隠ガールスカウトセンターの食堂運営について ・令和6年能登半島地震への対応について ・2024年度委員会委員について ・ 트레이ナー認定審査員について ・2024・2025年度評議員について ・表彰および感謝状について ・2024年度 海外研修引率リーダー渡航費補助について
理事会	7月21日（日）	・世界連盟臨時総会について ・役員選出委員会への申し送り事項について ・「子どもの保護と安全に関する行動規範」の改定について ・B-Pアワードの審査結果について ・能登半島地震被災地支援プロジェクトについて ・2024・2025年度評議員について ・2024年度日本連盟委員について ・都道府県連盟定款の一部変更について
理事会	10月19日（土）	・感謝状について ・会員に対する会費助成について ・評議員の辞任について ・法改正に伴う外部理事導入に向けての方針・スケジュールについて ・「コドモブースター」の継続実施について ・2024年度 海外研修引率リーダー渡航費補助について（再募集） ・能登震災支援プロジェクトについて ・「2025年度事業計画案」について ・性の多様性に関する方針について ・「子どもの保護と安全に関する成人会員ガイドライン」一部改定について

理事会	2025年 1月25日（土）	・ 2025年度2月23日臨時総会開催、議案について ・ 2024年度表彰について、感謝状について ・ 2025年度委員会委任事項・委員候補者について ・ 規程の一部改定について（旅費細則） ・ 2025年度事業計画案について ・ 2025年度予算案について ・ 中期財政計画について ・ 顧問について ・ AP地域委員の推薦について ・ 事務局長の任期について
理事会	2025年 3月9日（日）	・ 2024年度表彰について ・ ガールスカウト活動賞について ・ 入会応援キャンペーンについて ・ 資産取得資金ならびに特定費用準備資金の積立額・取崩額の計画について ・ 規程の一部改定について（旅費細則、職員出張旅費規程、事務局規程、特定資産取扱細則、育児・介護休業等規程の一部改定。特定費用準備資金等取扱規程の新設） ・ 2024年度補正予算（案）について ・ 2025年度事業計画（案）について ・ 2025年度予算（案）について ・ 2025年度資金調達及び設備投資の見込みについて ・ 第97回定時総会について ・ 2025年度委員会委員について ・ 次期役員のうち、外部監事、外部理事について ・ 顧問について ・ 海外渡航費補助の追加申請について ・ ALC株式会社への請求について

(4) 運営体制の充実

- ・ 当法人における運営体制の充実に関して現在は監事 2名が就任し、このうちの1名は従前より外部監事として選任されているが、当該監事は公益認定法の定めに合致している者である。この外部監事には、公益法人の管理に通じる行政における管理業務の知見および経験を持つ者が就任している。外部監事は理事会への出席だけではなく、理事の研修への参加や事業実施時の見学等の情報提供に加え、当法人における独自の機関として監査会議を設置し適切な監査が行われるようにしている。監査会議は外部監事を含めた 2名の監事、業務執行理事のうちで財務担当理事として選任された理事、会計顧問および事務局により構成される。会計顧問は適切な会計処理および財務諸表の開示のために、1名の公認会計士を理事会が任用し、月次で事務局の会計指導を行っている者である。監査会議においては、財務担当理事、会計顧問、事務局からの意見の徴取、監事による監査の結果の共有等が行われている。監事による監査においては、監事監査基本方針および年間の監事監査計画を協議の上で決定し、これらに従い期中の監査、期末の監査を行っている。
- ・ この他に理事会に対する独自の諮問機関として評議員が理事会により選任され、評議員にて構成される評議員会が設置されている。評議員会は理事会から諮問された事項について参考意見を述べ運営の助言を行っている。また、任意の機関として顧問が選任され理事会の求めに応じ、運営に助言している。

以上